






皮膚腫瘍グループ：皮膚がん治療開発マップ 2020.5.

悪性黒色腫

| 対象 | 標準治療 | JCOG試験 | 他組織の試験 | 主な未承認薬/ 適応外薬 |
|-----------|---|---|---|---|
| Stage I | 手術 切除 + センチネルリンパ節生検 (原発巣のThickness>1mmが適応)  | JCOG1602 爪部原発 手術療法 2018.1. ~  | | |
| Stage II | 手術 切除 + センチネルリンパ節生検  | JCOG1309 インターフェロン 術後補助療法 2015.5. ~ 2020.3 2025.3  | 術後補助療法 ペムプロリズマブ ニボルマブ | |
| Stage III | 手術  切除 ± リンパ節郭清 術後補助療法 ニボルマブ ペムプロリズマブ ダブラフェニブ+トラメチニブ ペグインターフェロン | | 術後補助療法 ニボルマブ +イピリムマブ | 術後補助療法 イピリムマブ 高用量 インターフェロン |
| Stage IV | ニボルマブ ペムプロリズマブ ニボルマブ+イピリムマブ イピリムマブ 手術 切除可能な 転移巣 | | 抗PD-1抗体と BRAF+MEK阻害薬 腫瘍溶解性ウイルス 他のチェックポイント 分子の阻害薬 などとの併用療法 等 | T-VEC ペムラフェニブ +コビメチニブ 高用量IL-2 (イマチニブ) |
| 再発 | BRAF変異ありの場合 ダブラフェニブ+トラメチニブ エンコラフェニブ+ピニメチニブ ペムラフェニブ 上記が無効または困難な場合 ダカルバジン 放射線治療 主に 脳転移に対す る定位照射、 骨転移に対す る緩和照射 | | | |



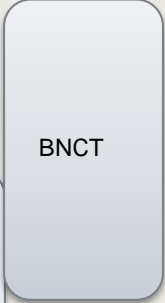



皮膚腫瘍グループ：皮膚がん治療開発マップ 2020.5.

悪性黒色腫 以外

| 対象 | 標準治療 | | JCOG試験 | 他組織の試験 | 主な未承認薬/ 適応外薬 |
|-----------|---|---|--------|---|--|
| Stage I | 切除 | 放射線治療 (手術不能、拒否例) | | | 基底細胞癌： 表在型、手術拒否例 イミキモド |
| Stage II | | | | | |
| Stage III | 切除 リンパ節郭清術 | 放射線治療 薬物療法 単独あるいは併用 (手術不能、拒否例) | | | |
| Stage IV | 皮膚扁平上皮癌 (有棘細胞癌)： 標準治療なし みなし標準 シスプラチン+ADM シスプラチン+5-FU イリノテカン | 腺癌： 標準治療なし みなし標準 ドセタキセル パクリタキセル FECOM療法 メルケル細胞癌： アベルマブ | | 皮膚扁平上皮癌 (有棘細胞癌)： セミプリマブ 上皮系皮膚悪性腫瘍 ：ニボルマブ | 皮膚扁平上皮癌 (有棘細胞癌)： セミプリマブ セツキシマブ 基底細胞癌： ビスモデギブ 隆起性皮膚繊維肉腫： イマチニブ |
| 再発 | 切除 | 放射線治療 | | | |

FECOM療法 (エピルピシン, マイトマイシンC, ピンクリスチン, カルボプラチン, 5-FU)

皮膚腫瘍グループ：血管肉腫治療開発マップ 2020.5.

| 対象 | 標準治療 | JCOG試験 | 他組織の試験 | 主な未承認薬 / 適応外薬 |
|--------|--|---|--|---------------|
| 局所 | 切除 薬物療法 放射線治療 単独あるいは併用  | JCOG1605 二次療法 パゾパニブ Phase II 2018.1. ~  | BNCT  | |
| リンパ節転移 | 切除 + リンパ節郭清術 薬物療法 放射線治療 単独あるいは併用  | | エリ布林 ニボルマブ  | |
| 遠隔転移 | 標準治療 バクリタキセル みなし標準 ドセタキセル アドリアマイシン アドリアマイシン併用化学療法 イホスファミド 悪性軟部腫瘍に適応あり パゾパニブ エリ布林 トラベクテジン  | | | |
| 再発 | | | | |